令和　５年第２回総務企画常任委員会－06月05日-01号

◆今井俊哉　委員
　大学の中期目標について、４つの基本目標の中で官民共創という言葉が出てくるが、まずその内容について伺いたい。

◎永井　戦略企画課長
　県内の様々な団体と、新しい公をつくっていこうということで、概念をつくっているものである。
　具体的な検討状況についてであるが、県立女子大では市町村など県内の様々な機関と連携し、地域の活性化に向けた講義やフィールドワークを実施するなど、それぞれの地域で発生している課題を解決するプログラムを授業に入れていくことを検討している。
　県民健康科学大学では医療人材の育成機関であることを生かし、県内の医療関係の企業と連携し、新たな技術の開発、検証に参画をしている。今後、さらにこの部分をパワーアップし、県内企業との共同研究、製品開発などを積極的に進めたいということで検討を進めている。

◆今井俊哉　委員
　大学というのは学問の追求の場であるというアカデミックな側面と、職業訓練的な意味合いがある。
このバランスは時代に応じ、またはその大学進学率のパーセンテージによっても変わってくるかと思うが、例えば県民健康科学大学の方でいうと、新技術であったり医療であったり、従事者に向けてということなので、その職業訓練的な兼ね合いがもしかしたら高いかもしれない。群馬県が用意する大学として、その辺のバランスを今後どう考えているか。

◎永井　戦略企画課長
　例にあった県民健康科学大学でいえば、診療放射線学部の資格の取得率については全国でもトップクラスである。ただ、実際社会に出たときに、その資格だけでなくプラスして、社会の中でどうやってそれを生かしていくかというところは必要かと思う。こういった外との結びつきという部分を強めていくこと等でそういった力も備えてもらいたいと考えている。

◆今井俊哉　委員
　総合戦略について、県のホームページを見ると、何とか計画とかいうのが 120 近くあって、それだけ県という組織が大きく、分業が細かく分かれているのだという実感を受けるが、それぞれがどういった関係にあってどういった立ち位置だというのが分かりにくいといった問題がある。
　今回総合戦略が出てきているが、総合戦略と総合計画の関係性、役割の違いはどういうものか。

◎奈良　総合計画・ＥＢＰＭ推進室長
　御指摘のとおり県には様々な計画があるが、まず総合計画は県の行政運営の総合的な指針となり、県の最上位計画である。
　一方総合戦略は、地方創生についての取組の計画であり、国の方針に基づき策定するものとなっている。これはデジタル田園都市国家構想交付金等の地方創生関係交付金の活用について、策定が必要なものとなっている。
　なお、戦略については前回、現在の総合計画よりも先に策定をしたので、今回の改定で総合計画の内容を取り込み、整合性を図りたいと考えている。

◆今井俊哉　委員
　そうすると総合計画が例えば大きな矢印みたいなものであり、その中で総合戦略が、例えば交付金などを、どう取っていって扱っていくのかというような、少し具体性を持った関係にあるというような理解でよろしいか。

◎奈良　総合計画・ＥＢＰＭ推進室長
　御指摘のとおりである。

◆今井俊哉　委員
　最後に GunMaaS について、前橋で実証実験をしているというところで、その実証で得られた知見について伺いたい。まず、その実証の内容と利用者の声はどうであったか。

◎黒神　ＭａａＳ推進主監
　昨年度はデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、スマートフォンで地域の異なる交通サービスをつないだアプリケーションを実

装した。
　電車やバスの遅れなど最新の運行乗降状況をリアルタイムで反映するルート検索や仕組みができた。また、地域デマンドバスやタクシーの配車予約、それからSuicaカードについても中小３私鉄に導入した。さらに、マイナンバーカードを紐づけて個人属性に応じた割引サービスが実現できたという点が特徴である。
　また、２月には運営主体として、群馬県及び交通事業者、業界団体からなる協議会を設立した。

◆今井俊哉　委員
　利用者と事業者の声、特に高齢者の反応はどうだったか。

◎黒神　ＭａａＳ推進主監
　利用者の声について、アンケート調査からの結果であるが、67%の方に満足という形で評価をいただいた。
　一方で、結果の改善等について利用者や運営側からも改善や機能充実を希望する声もあった。高齢者の声であるが、前橋市でデマンド交通をアプリ上で予約可能としたところ、高齢者からの利用も非常に多く、地域の日常移動を支援する仕組みとして高齢者からも評価をいただいている。

◆今井俊哉　委員
　高齢者が使いやすければ、おそらく全員にとって使いやすいシステムになっていくと思うので、その観点から整備を進めていただきたいと思うが、どうか。

◎黒神　ＭａａＳ推進主監
　高齢者に使いやすいシステムになるよう検討していきたい。